

「女性対象の集団精神療法における心理検査指標の変化とその臨床的意義の研究」

へご協力をお願い

—2025 年 11 月 1 日～2027 年 8 月 31 日までに
当院での通院集団精神療法を受けられた方へ—

研究機関名：三重大学医学部附属病院

研究責任者：三重大学医学部附属病院 精神科神経科 助教 大久保瑠璃

研究分担者：三重大学大学院医学系研究科 精神神経科学 教授 岡田元宏

三重大学大学院医学系研究科 精神神経科学 准教授 元村英史

三重大学医学部附属病院 精神科神経科 医員 中本充咲

三重大学医学部附属病院 総合サポートセンター 精神保健福祉士 佐藤さらさ

個人情報管理者：三重大学医学部附属病院 精神科神経科 大久保瑠璃

1. 研究の概要

1) 研究の意義

女性のメンタルヘルスは、ホルモン変動やライフイベント、社会的役割の多重化などさまざまな要因の影響を受けやすい領域であり、臨床現場において重要な課題となっています。こうした背景から、女性特有の心理的ニーズに応じた効果的な支援方法を検討することは、精神医療の質の向上に不可欠です。集団精神療法は対人交流を通じた気づきや相互支援を促進する介入として有用性が認められていますが、女性を対象とした集団精神療法の効果を心理検査指標の変化から体系的に検証した研究は十分とはいえません。本研究は、女性患者を対象とした通院集団精神療法において、心理検査指標がどのように変化するかを明らかにし、その変化が臨床的にどのような意味を持つのかを検討します。心理検査は、主観的な訴えだけでは把握しきれない心理状態を客観的に評価できる手段であり、治療方針の検討や治療効果の可視化に有用です。心理検査指標の変化を通して集団精神療法の効果を検証し、女性のメンタルヘルス支援の質の向上を目指します。

2) 研究の目的：

女性を対象とした集団精神療法における心理検査指標の変化を明らかにし、その変化が臨床的にどのような意味を持つのかを検討します。既に診療行為として実施された心理検査の結果を診療録から後ろ向きに評価するとともに、今後の診療で得られる心理検査結果も用いて、集団精神療法の効果を実践的に検証することを目的とします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2025年11月1日～2027年8月31日までに通院集団精神療法を受けられた患者様

2) 研究期間

許可日より2028年8月31日まで

3) 研究方法

通院集団精神療法を施行した女性患者を対象とし、その効果を心理検査指標の変化から検討するため、後ろ向き観察研究と前向きデータ収集を組み合わせ実施します。既に診療行為として実施され、診療録に記録されている心理検査結果を後ろ向きに収集し、今後の診療行為の中で実施される同様の心理検査についても介入前後の結果を前向きに収集します。対象とする心理検査は、LSAS-J (Liebowitz Social Anxiety Scale 日本語版)、BPRS (Brief Psychiatric Rating Scale)、STAI (State-Trait Anxiety Inventory)、NEO-PI-R (性格特性検査) とし、これらの介入前後の数値を用いて心理状態の変化を評価します。収集したデータについては、各心理検査指標の変化量を算出し、統計学的手法を用いて集団精神療法の効果を分析します。また、指標の変化が臨床的にどのような意味を持つかについても、治療経過や臨床背景と照らし合わせながら検討します。

4) 使用する試料の項目

該当ありません。

5) 使用する情報の項目

[患者情報]

- 背景情報（年齢、性別、診断名、既往歴、治療歴、家族歴など）
- 集団精神療法に関する情報（参加したグループの回数、参加セッション数、参加期間、中断・離脱の有無および理由）
- 診療で行われた各神経心理検査（L-SAS-J、BPRS、STAI、NEO-PI-R）
- 診療録に基づくその他の精神症状

6) 利用又は提供を開始する予定日：許可日

7) 情報の保存

研究対象者の個人情報（個人情報）を特定できないよう加工を行い、その個人情報を復元できる情報（いわゆる対応表）は個人情報管理者が保管します。個人情報を特定できないようにした情報は電子情報として保存します。この研究で得られたデータは適切に保管し、研究終了後5年または研究発表後5年のいずれか遅い日まで保管した後、個人情報が特定できないまま廃棄します。

また、保管される既存情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究の研究計画書等を倫理審査委員会に付議し、承認されてから利用します。また、その際は情報公開文書を作成し、当院のホームページ

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開」(<https://mie.bvits.com/rinri/publish.aspx>)で公開したうえで、研究対象者が研究参加を拒否する機会を保障します。他機関の研究者に既存試料・情報を提供する場合は、対応表は提供せず、個人の識別ができないよう措置を行います。

近年、データの正確性を見るために、論文の出版社からデータの提出を求められることがあります。また、全世界の研究者が、論文のデータにアクセスできるようにし、研究を行うことがあります（データシェアリングといいます。）。両者とも、個人を特定できなくした情報しか提供しませんので、これにより個人を特定されることはありません。

8) 情報の保護：

研究に関わる関係者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、関係者は、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。試料・情報の管理の責任者は研究責任者です。

9) 倫理審査：

三重大学医学部附属病院または医学部・医学系研究科内で行われる全ての臨床研究は、研究に参加される方の人権や安全性の保護および科学性について問題がないかを三重大学医学部附属病院 医学系研究倫理審査委員会で審査され、その意見をもとに病院長または研究科長が許可したもののみ実施されます。本研究は、三重大学医学部附属病院 医学系研究倫理審査委員会において審査を受け、病院長または研究科長の許可を得ております。

10) 研究資金源及び利益相反に関する事項：

精神神経科学奨学寄附金（企業・企業外）を使用します。本研究の結果および結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反はありません。また、本研究を行うことによって研究に参加いただいた方々の権利・利益を損ねることはありません。

11) 研究計画書および個人情報の開示：

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてお分かりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究はあなたのデータを個人情報かわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

12) 研究への使用を希望されない場合：

あなたの試料・情報が 研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にも不利益が生じることはありません。あなたが研究を拒否された場合、これまで取得したデータは全て

削除します。ただし、解析中もしくは論文執筆中のデータ、また、既に学会や論文で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。拒否される場合は、お早めにご連絡をお願い致します。

<問い合わせ・連絡先>

担当者：三重大学医学部附属病院 精神科神経科 大久保瑠璃

電話：059-231-5018（平日：9 時 30 分～17 時 00 分） ファックス：059-231-5208